

1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
10月	平均気温(°C)	19.1	17.2	15.0	13.4	9.4	11.3	14.5	14.0	月間平年比+0.5°C
10月	降水量(mm)	10.0	20.7	50.0	55.1	38.5	46.1	98.5	121.9	月間平年比81%
10月	日照量(h)	70.0	51.8	61.5	47.6	56.1	54.7	187.6	154.1	月間平年比122%

2021 10月気象ポイント解説

- ◆ 気温：最高 30.4°C(10/10) 最低 0.3°C(10/30) 17日頃から最低気温が大きく下がる。異例の連続夏日9 (10/2-5、7-9に連続して観測) 真夏日1
- ◆ 降水量：19.5mm(10/13) 11.5mm(10/17) 11.5mm(10/20) 10.5mm(10/23) 22.0mm(10/26)
- ◆ 日照量：9月下旬日照極多→10月上中旬日照極多→10月下旬日照並
- ◆ 台風関連：10/1 台風16号(ミンドゥル)が最接近したが、特に被害なし。
- ◆ その他：強風 13.2m/s(10/16)

2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【生産特記2021】

- ① 生産基盤 (推定)：ぶどう 320ha・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38ha
- ② 満開：プラム 4/8 もも 4/13 ナシ 4/19 りんご 4/27 巨峰 6/11 シャイン 6/18 *立ち木平年比▲7-10に程度 ぶどう平年比+3
- ③ ぶどう
 - ◆ シャイン：収穫後半に入っても未熟粒割合多い。裂傷は少なめ。着色・食味上昇遅れのため収穫進捗は昨年より遅れた。
 - ◆ パープル：裂傷が盆前後から発生 (平年比：ハウス多め>露地少なめ)。着色・粒肥大良好。平均糖度 18%。
 - ◆ 巨峰：9月高温・乾燥等で成熟が進み、脱粒発生多く、ロス率は昨年より高い。着色・粒肥大良好。平均糖度 19%。
 - ◆ ルージュ：9/27 露地初出荷。着色程度にバラツキあり。9月下旬で糖度 20%到達が多く食味良好。果頂部裂傷の発生は少ない。大房着色不良。
 - ◆ 出荷量累計 (昨対)：パープル 97% 巨峰 81% 種なし巨峰 85% シャイン 95% ルージュ 647% 加工 132% 全体 91% *10/31 現在
 - ◆ 収穫開始：ナガノパープル 8/29・有核巨峰 8/29・種なし巨峰 9/5・シャインマスカット 9/20・クイーンルージュ 9/26
- ④ 立ち木
 - ◆ りんご：秋映・スイート荷受ほぼ終了。サビ、病害、ひょう害等によるロス多く、荷受量前年比 50%程度。
S ゴールド 10/12～、ぐんま名月 10/20～、赤肉系 10/29～、シナノホッペ 10/30～、サンふじ 11/1 頃～荷受開始。
デンブン抜けが進み、成熟 5 日程度前倒し傾向。サンふじ：ミツ入り始め・つる割れ少・斜形果多・日焼け散見。秀品率低い。
 - ◆ もも：10/2 荷受終了。主力品種荷受量昨対 114%。全体的にせん孔細菌病の発生が少なく大玉傾向で出荷量増。
 - ◆ プラム：10/6 荷受終了。荷受量昨対 160%。凍霜害、日焼け、裂果、かいよう病等の被害はあったが、北部地域中心に出荷量増。
 - ◆ 柿：市田柿 10/23～25、琥珀の華 10/27～28 収穫開始。硬度低下が遅れており、昨年並の収穫開始。
 - ◆ 出荷予想：りんご 70%、柿 90%。 出荷量 (昨対)：もも 110%、和梨 30%～40%、西洋梨 90%、プラム 160%。

【2021 病害虫対策】

- ① せん孔細菌病：晩生種に果実病斑が散見。発生密度は昨年より少ない。
- ② 黒斑病 (かいよう病)：秋姫等の品種で、葉病斑・果実病斑が多発傾向。
- ③ 黒星病：一部園地で散布死角中心に葉病斑・果実病斑の発生あり。
- ④ 輪紋病、炭ソ病：りんご中生種～晩生種で果実病斑が散見される。S ゴールドは多発傾向。
- ⑤ 褐斑病：8月中下旬～散見、黄変落葉。二次感染は6月下旬～7月上旬。8月中旬の降雨で感染拡大。
- ⑥ べと病：7月に入り巨峰系粒被害確認。悪天候続き蔓延が心配される。定期散布間隔短縮で対応。
- ⑦ 黒とう病：7月上旬から全域で発生。部分的な発生が主。薬剤到達不足等が原因。
- ⑧ ぶどうクビアカシバシバ：第1次ピーク 6/20 → 7-8月も断続発生。山間部を中心に被害あり。
- ⑨ ハダニ類：8月中下旬～発生増加。一部園地で多発。9月に入り発生落ち着く。
- ⑩ スモモヒメシンクイ：第三世代ピークは9月10日頃～。プラム・りんご中心に果実被害散見。
- ⑪ ナシヒメシンクイ：6月中旬頃から、もも園で新梢先端の食害 (芯折れ) が散見された。
- ⑫ コガネムシ類：ぶどうで6月下旬に加害あり (部分的)。